

内水試

# かわら版

61号

霞ヶ浦  
改善飼料

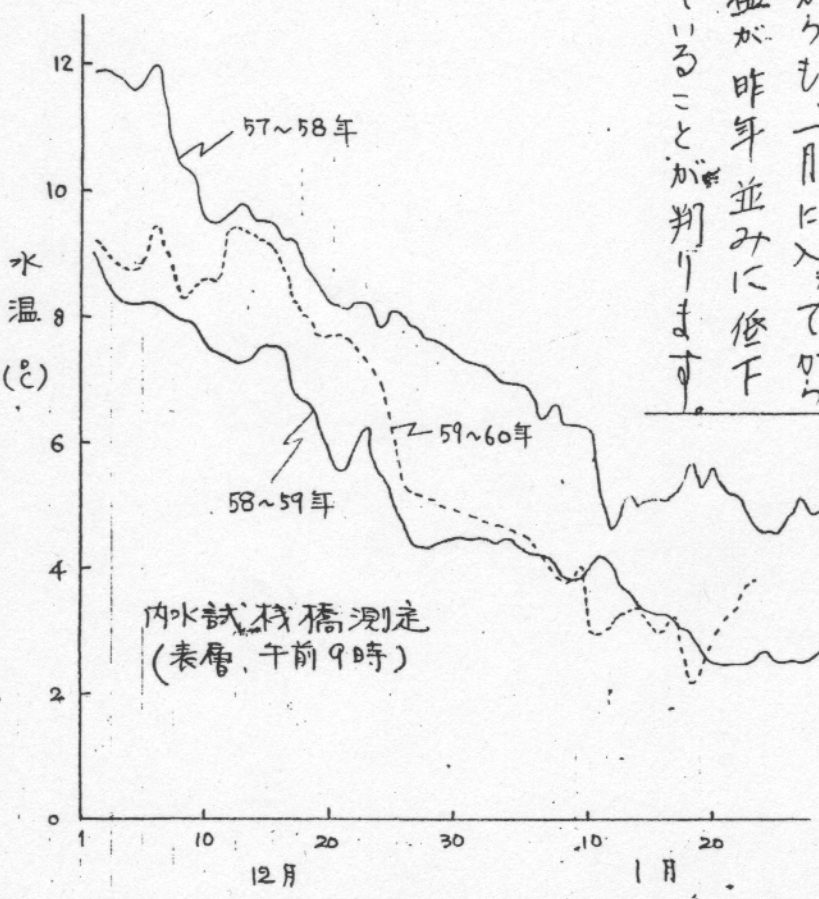
## 飼育試験

による

霞ヶ浦の網いけすで使用されるコイのエサは、昭和五十八年四月から、蛋白質が三十七%以下のものと決められていました。今まで、霞ヶ浦で使用していたエサには、約三十九〜四十一%の蛋白質が含まれていましたので、三〇前後蛋白質が減ったことになりました。試験場では、この新しいエサを使って、網いけす

で飼育試験を行いました。たゞ、お知らせします。試験は、市販のエサを用いた改善飼料四種類を用いた。六月から九月迄、試験場の網いけすで行いました。この期間、四回取り揚げ、体重測定を行いました。たゞ、今回用いたエサはいづれも飼料効率七〇%以上(増肉係数一・四以下)で、従来のエサと変わらない飼育成績を得ました。試験場では、今後、季節に合わせた飼料、また飼料中のリン含有量と魚体の脂肪量、飼料効率との関係などについて検討する必要があります。

あると考えられています。『**寒冬に予報変更**』  
気象庁は、先ごろ、暖冬から、一転して寒い冬に予報を変更しました。四か月前、一月に入ってから水温が昨年並みに低下していることが判ります。



六十号で、暖冬では、フロステリウムが増殖し、霞ヶ浦にとっては悪い状態になる恐れがあると言及しました。現在、クロスステリウムの量に変化はみられません。今後の推移を注意したいと思います。

茨城内水試図